

令和4年度

富士宮市下水道事業の業務状況説明書

自 令和4年10月  
至 令和5年 3月

水道部 下水道課

## 目 次

令和4年度	富士宮市下水道事業の概況	……………	1
令和4年度	富士宮市下水道事業会計収支状況		
	収益的収入及び支出（収入）	……………	2
	（支出）	……………	3
	資本的収入及び支出（収入）	……………	4
	（支出）	……………	5
令和4年度	月別水洗化率及び有収率	……………	6
令和5年度	富士宮市下水道事業会計予算概要	……………	7
	収益的収入及び支出（収入）	……………	7
	（支出）	……………	8
	資本的収入及び支出（収入）	……………	9
	（支出）	……………	10
令和5年度	富士宮市下水道事業の経営方針	……………	11

## 令和4年度 富士宮市下水道事業の概況

本年度は、公共下水道事業と農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用し、下水道事業としてスタートして3年目となります。昨年度は、損益収支で2億6,244万685円の純利益を得ることができました。本年度も引き続き、下水道施設の適切な維持管理、管渠等の整備を推進し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めました。

### 1 処理状況について

公共下水道事業は9,678,278立方メートル、農業集落排水事業では14,651立方メートルを適正に処理しました。

### 2 営業状況について

本年度の下水道事業収益は20億9,898万9,061円(消費税抜き)、下水道事業費用は18億4,234万3,372円(消費税抜き)となり、損益収支で2億5,664万5,689円の純利益を得ることができました。

### 3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉・大中里地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による星山浄化センター長寿命化工事を実施しました。

雨水事業では、下川2号幹線管渠新設工事を実施しました。

令和4年度 富士宮市下水道事業会計収支状況  
収益的収入及び支出  
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 下水道事業収益	2,184,677,000	2,171,973,152	99.4%	△ 12,703,848	(調定額のうち仮受消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 73,060,509)
1 営業収益	1,001,483,000	987,192,629	98.6%	△ 14,290,371	(消費税 73,006,322)
1 下水道使用料	817,376,000	803,069,629	98.2%	△ 14,306,371	(消費税 73,006,322)
2 他会計負担金	184,026,000	184,026,000	100.0%	0	
3 その他営業収益	81,000	97,000	119.8%	16,000	
2 営業外収益	1,183,193,000	1,184,722,607	100.1%	1,529,607	(消費税 49,401)
1 受取利息及び配当金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 他会計負担金	588,799,000	588,799,000	100.0%	0	
3 長期前受金戻入	593,812,000	594,609,522	100.1%	797,522	
4 雑収益	581,000	1,314,085	226.2%	733,085	(消費税 49,401)
3 特別利益	1,000	57,916	5791.6%	56,916	(消費税 4,786)
1 固定資産売却益	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 過年度損益修正益	0	51,987	—	51,987	(消費税 4,247)
3 その他特別利益	0	5,929	—	5,929	(消費税 539)

## (支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予算現額	執行額	執行率	予算残額	備 考
1 下水道事業費用	1,950,765,000	1,889,488,336	96.9%	61,276,664	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 40,783,517)
1 営業費用	1,801,392,000	1,759,905,189	97.7%	41,486,811	(消費税 40,772,945)
1 1 管 渠 費	57,659,000	40,683,216	70.6%	16,975,784	(消費税 3,393,999)
2 処 理 場 費	437,519,000	416,571,915	95.2%	20,947,085	(消費税 36,779,767)
3 普 及 指 導 費	20,449,000	20,135,515	98.5%	313,485	(消費税 104,971)
4 総 係 費	120,073,000	118,199,567	98.4%	1,873,433	(消費税 494,208)
5 減 価 償 却 費	1,163,087,000	1,161,722,455	99.9%	1,364,545	
6 資 産 減 耗 費	2,585,000	2,574,921	99.6%	10,079	
7 その他営業費用	20,000	17,600	88.0%	2,400	
2 営業外費用	129,600,000	129,521,582	99.9%	78,418	(消費税 5,433)
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	118,862,000	118,859,677	100.0%	2,323	
2 雑 支 出	211,000	135,605	64.3%	75,395	(消費税 5,433)
3 消 費 税	10,527,000	10,526,300	100.0%	700	
3 特 別 損 失	200,000	61,565	30.8%	138,435	(消費税 5,139)
1 過 年 度 損 益 損 修 正	200,000	61,565	30.8%	138,435	(消費税 5,139)
4 予 備 費	19,573,000	0	0.0%	19,573,000	
1 予 備 費	19,573,000	0	0.0%	19,573,000	

資本的収入及び支出  
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 資 本 的 収 入	858,139,000	529,496,015	61.7%	△ 328,642,985	(調定額のうち仮受消費税及び地方消費税以下「消費税」という。54)
1 企 業 債	438,400,000	259,100,000	59.1%	△ 179,300,000	
1 企 業 債	438,400,000	259,100,000	59.1%	△ 179,300,000	
2 出 資 金	132,626,000	132,626,000	100.0%	0	
1 他 会 計 出 資 金	132,626,000	132,626,000	100.0%	0	
3 分 担 金 及 び 負 担 金	9,040,000	9,098,015	100.6%	58,015	(消費税 54)
1 分 担 金	407,000	0	0.0%	△ 407,000	
2 負 担 金	8,633,000	9,098,015	105.4%	465,015	(消費税 54)
4 国 庫 ( 県 ) 補 助 金	278,072,000	128,672,000	46.3%	△ 149,400,000	
1 国 庫 ( 県 ) 補 助 金	278,072,000	128,672,000	46.3%	△ 149,400,000	
5 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
1 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	

## (支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	執 行 額	執 行 率	予 算 残 額	備 考
1 資 本 的 支 出	1,614,460,000	1,204,389,436	74.6%	410,070,564	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 38,222,031)
1 建 設 改 良 費	887,903,000	477,834,324	53.8%	410,068,676	(消費税 38,222,031)
1 汚水管渠整備費	566,357,000	263,177,163	46.5%	303,179,837	(消費税 20,433,517)
2 雨水渠整備費	123,417,000	19,561,253	15.8%	103,855,747	(消費税 1,076,308)
3 処理場整備費	183,112,000	180,788,715	98.7%	2,323,285	(消費税 15,954,432)
4 受益者負担金 徴収業務費	10,558,000	10,423,193	98.7%	134,807	(消費税 408,367)
5 固定資産購入費	4,459,000	3,884,000	87.1%	575,000	(消費税 349,407)
2 企 業 債 償 還 金	726,557,000	726,555,112	100.0%	1,888	
1 企 業 債 償 還 金	726,557,000	726,555,112	100.0%	1,888	

資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額3,775,000円を除く。)が資本的支出額に不足する額678,668,421円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額25,729,127円、当年度分損益勘定留保資金558,687,854円、建設改良積立金69,251,440円、減債積立金25,000,000円で補填した。

## 令和4年度 月別水洗化率及び有収率

### 1 公共下水道事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	70,512	70,357	70,205	70,129	70,054	69,952
水洗化人口 (人)	62,030	61,946	61,916	61,944	61,978	62,015
水洗化率 (%)	87.97	88.05	88.19	88.33	88.47	88.65
処理水量 (m <sup>3</sup> )	—	1,710,126	—	1,580,024	—	1,420,612
有収水量 (m <sup>3</sup> )	—	1,154,796	—	1,166,630	—	1,140,402
有収率 (%)	—	67.5	—	73.8	—	80.3

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月にまとめて記載する。

### 2 農業集落排水事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	122	122	122	122	122	122
水洗化人口 (人)	122	122	122	122	122	122
水洗化率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,594	—	2,316	—	2,105	—
有収水量 (m <sup>3</sup> )	2,542	—	2,377	—	2,471	—
有収率 (%)	98.0	—	102.6	—	117.4	—

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月ごとに記載する。

令和5年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

収益的収入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 下水道事業収益			2,172,650	100.0
	1 営業収益		971,726	44.7
		1 下水道使用料	801,446	36.9
		2 他会計負担金	170,201	7.8
		3 その他営業収益	79	0.0
	2 営業外収益		1,200,923	55.3
		1 受取利息及び配当金	1	0.0
		2 他会計負担金	626,047	28.8
		3 長期前受金戻入	574,295	26.4
		4 雑収益	580	0.0
	3 特別利益		1	0.0
1 固定資産売却益		1	0.0	

令和5年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1	下水道事業費用		1,950,860	100.0
	1 営業費用		1,813,045	93.0
		1 管 渠 費	56,628	2.9
		2 処 理 場 費	458,953	23.5
		3 普 及 指 導 費	21,428	1.1
		4 総 係 費	123,970	6.4
		5 雨 水 渠 費	100	0.0
		6 減 価 償 却 費	1,134,786	58.2
		7 資 産 減 耗 費	17,166	0.9
		8 その他営業費用	14	0.0
	2 営業外費用		117,515	6.0
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	107,304	5.5
		2 雑 支 出	211	0.0
		3 消 費 税	10,000	0.5
	3 特別損失		200	0.0
		1 過年度損益修正損	200	0.0
	4 予 備 費		20,100	1.0
		1 予 備 費	20,100	1.0

令和5年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

資本的收入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的收入			700,418	100.0
	1 企業債		357,100	51.0
		1 企業債	357,100	51.0
	2 出資金		131,003	18.7
		1 他会計出資金	131,003	18.7
	3 分担金及び負担金		29,934	4.3
		1 分担金	407	0.1
		負担金	29,527	4.2
	4 国庫(県)補助金		182,380	26.0
		1 国庫(県)補助金	182,380	26.0
	5 固定資産売却代金		1	0.0
		1 固定資産売却代金	1	0.0

令和5年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的支出			1,480,802	100.0
	1 建設改良費		810,940	54.8
		1 污水管渠整備費	548,091	37.0
		2 雨水渠整備費	68,467	4.7
		3 処理場整備費	185,154	12.5
		4 受益者負担金 徴収業務費	7,160	0.5
		5 固定資産購入費	2,068	0.1
	2 企業債償還金		669,862	45.2
		1 企業債償還金	669,862	45.2

## 令和5年度 富士宮市下水道事業の経営方針

令和5年度は、下水道施設の適切な維持管理、管渠等の整備を引き続き推進し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めます。

### 1 処理状況について

下水道事業の経営の基本となる業務の予定量について、公共下水道事業は年間総処理水量 9,762,482 立方メートル、農業集落排水事業では年間総処理水量 15,580 立方メートルと見込み、適正な処理に努めます。

### 2 営業状況について

本年度は、下水道事業収益 20 億 9,978 万 9,636 円(消費税抜き)、下水道事業費用 19 億 481 万 2,694 円(消費税抜き)と見込み、公営企業としてコスト意識を持った事業執行に努めます。

### 3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉・西小泉町地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による星山浄化センター建物長寿命化工事を実施します。

雨水事業では、内水解析業務を実施します。